

食育から考える国際協力

九州大学 2 年 三島はるか

誰もが生きていくうえで必要不可欠な食に関する教育、食育というものがある。農林水産省によると、食育とは「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てること」だという。最近では食育の専門資格などもあり日本全体で食育に力を入れていく流れができつつある。

私はこの食育と国際協力をコラボさせてみたい。そして、上記の食育の定義に手を加え「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、一人ひとりが責任をもって健全な食生活を実現することができる人間と社会を育てること」としたい。これに沿って考えていく。

まずは知識だ。はじめにあげられるのは健康に生きていくために必要な栄養素、適切な量についてだろう。では、例えば日本でよく食べられているバナナはどこでどのように作られているのだろうか。私たちはその経費と労働に見合ったお金を払っているのだろうか。また、コンビニにいつ行ってもたくさんの総菜が並んでいて、スーパーのきゅうりやなすなどはまっすぐでほとんど傷がない。その全ては消費されているのだろうか。傷がついてしまった野菜はどうなっているのだろうか。食料生産の場で低賃金長時間の違法な労働や環境破壊を続けている国がある。このようにして作られた食料は生産地で消費される量は少なく、そのほとんどが外国に輸出される。私たちは生産した食料の 3 分の 1 を廃棄している。このような事実も私たちの食に直接関わっているものである。このようなことを知らずにただ何を食べているかだけを気にすればいいのだろうか。それはあまりに無責任であると私は思う。というよりむしろそれを知らずして何を食べているか気にしてるとはいえないのではないだろうか。食に関する国際的問題も食育で教え、社会の共通意識を養っていかれたらと考える。

次に、「食」を選択する力だ。私たちは知識を基に自分がどのような食生活を送るのか選択しなければならない。では、その選択は誰もができることなのだろうか。例えば、知識を得る機会がなければその選択肢の存在すらわからない。知識を得て、選択したくても選択するのに必要なものがそろっていなければ選択することはできない。それはお金や、食材を調理し食べるための時間、環境であろう。つまり「食」を選択する力とは、知識と手段がそろっていることである。仮に、毎日のようにインスタント食品を食べている人がいるとする。その食生活を彼/彼女が選択する力を持ち合わせていて好き好んでしているものならそれもひとつの生き方なのかもしれない。しかし、もしインスタント食品を食べ続けることによるリスクや不足する栄養素について知らず、様々な食品を買いそろえるお金がないためにそうなっているのならば、それは彼/彼女だけの責任なのだ

ろうか。また、前述のように3分の1の食品を捨てている一方で、飢餓人口は11年ぶりに増加傾向を示した。生まれた国や家庭によって選択する力を奪われているのは、彼/彼女たちがわるいのだろうか。選択する力を育むために食育の果たす役割はとて大きく、誰にでも食育をうける機会を設けるべきである。そして食育を通して一人ひとりの意識を変え、社会全体に誰もが十分な選択をできるようサポートしていかなければならないという責任感が高まると良いと思う。

いかがだろうか。食育と国際協力のコラボ。具体的には資格を取る際のテキストの改編や発展途上国での食育の普及などの手段がある。言われてみれば当たり前だと思っていたら嬉しい。そして食育を通して誰もがフェアトレードだって食品ロスだって(問題自体がなくなりその言葉もなくなればと思っているが)知っていて、自分で選択できて、自分の食に責任をもてて当たり前、そんな社会が実現できれば、日々の生活はもっと豊かに、そしておいしい!!という笑顔にあふれるものとなると信じている。(1596字)

#### 【参考文献】

朝日新聞デジタル「飢餓人口、8億1500万人減少傾向から増加へ」2017年9月16日(最終閲覧2017年10月29日)

<http://www.asahi.com/articles/ASK9G5WGLK9GUHBI02L.html>

農林水産省「食育基本法」(最終閲覧2017年10月29日)

[http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/pdf/kihonho\\_27911.pdf#search=%27%E9%A3%9F%E8%82%B2%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E6%B3%95%27](http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/pdf/kihonho_27911.pdf#search=%27%E9%A3%9F%E8%82%B2%E5%9F%BA%E6%9C%AC%E6%B3%95%27)